

第114回住宅・不動産セミナー

「外国人・外国資本と日本の住宅市場」

住宅市場で日増しに存在感を増す外国人と外国資本
外国人の家探し、マシション市場への影響、物件所有傾向について
専門家が解説——

外国人・外国資本は
日本の住宅市場に
何をもたらしているのか

2.27 正
14:00-16:30

出入国在留管理庁によれば、日本の在留外国人数は2024年の1年間で約36万人増加し、約377万人に達しました。また、世界的な金融市場の自由化は海外投資の拡大を通じて国内不動産市場にも影響を与えており、特に近年は国外からの不動産投資や物件所有状況が大きな関心事となっています。こうした外国人・外国資本由来の住宅・不動産需要は、住宅業界の皆様にとっても大きな関心領域と存じます。この度、外国人・外国資本が日本の住宅市場に与える影響をテーマにしたセミナーを開催いたします。

開場 13:30~	開会 (14:00-14:05)	
○ 第1部 (14:05-14:35)	○ 第2部 (14:50-15:30)	○ 第3部 (15:50-16:20)
「不動産登記情報を活用した新築マンションの取引の調査」について	「不動産投資市場と外国資本」	「賃貸住宅市場と外国人顧客」
片田 一真 氏	船窪 芳和 氏	原野 啓 氏
国土交通省 不動産・建設経済局 不動産市場整備課 課長補佐	三菱UFJ信託銀行株式会社 不動産コンサルティング部 上級調査役	明海大学 不動産学部 准教授

(各報告後、10分程度の質疑応答を予定)

- 場所: AP市ヶ谷 8階 “会議室A” およびWEB配信※
東京都千代田区五番町1-10市ヶ谷大郷ビル
- 日時: 2026年2月27日 (金) 14:00-16:30
- 参加費: 無料 (事前申し込みが必要です)
※申し込みはHPから (2月20日〆切)

